



# CHAPTER 4

## Cisco Secure ACS-Cisco ISE Migration Tool の使用

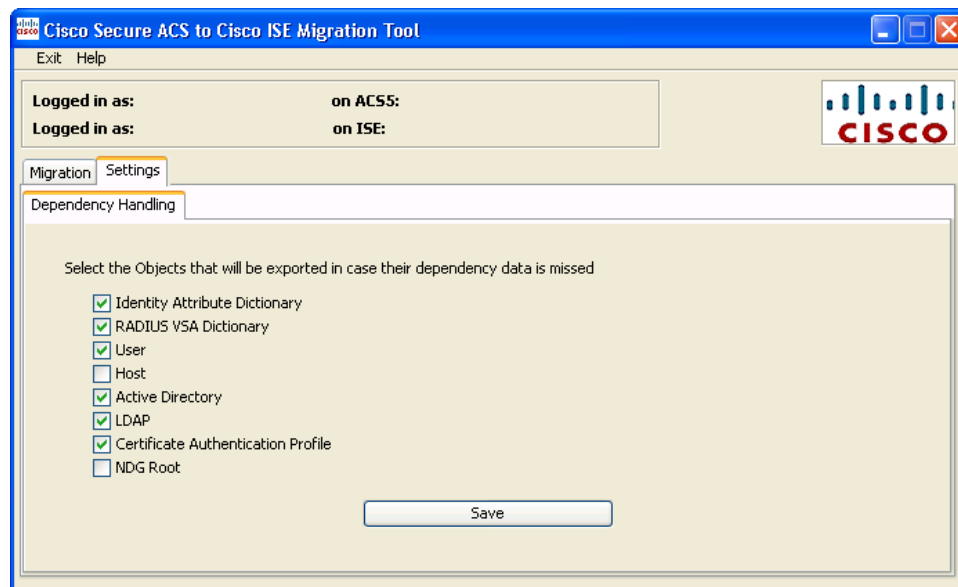
この章では、Cisco Secure Access Control System (ACS) -Cisco Identity Services Engine (ISE) Migration Tool を使用して、Cisco Secure ACS 5.1/5.2 のデータベースから Cisco ISE 1.1 アプリアンスヘータを移行する方法について説明します。以下のトピックには、移行プロセスを実行する手順が含まれています。

- 「ログインおよび移行ツールの使用」 (P.4-1)
- 「インポート プロセスの検証」 (P.4-9)
- 「レポート ファイルの提供」 (P.4-10)

### ログインおよび移行ツールの使用

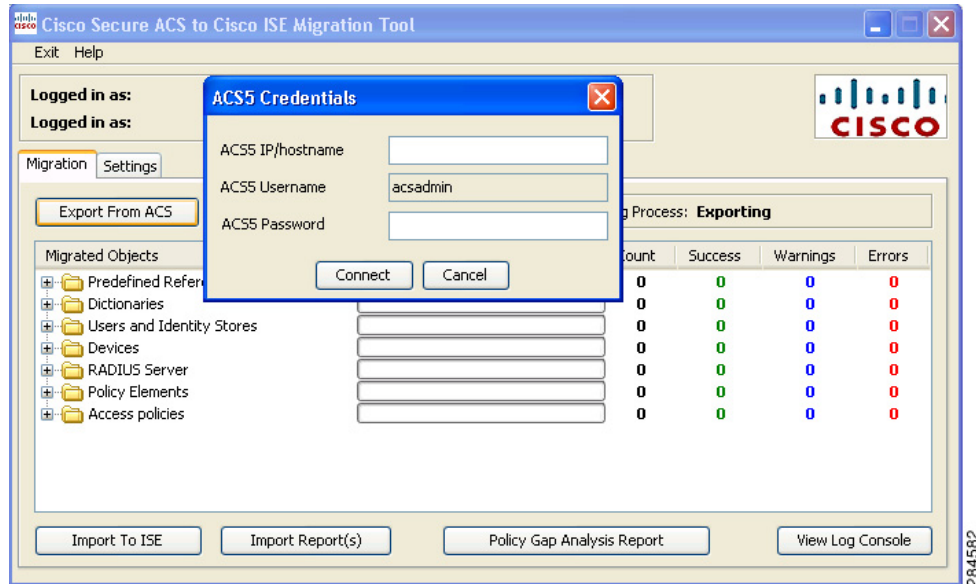
移行ツールを開始した後で、データのエクスポート元である Cisco Secure ACS 5.1/5.2 システムへログインします。移行ツールの使用を開始するには、以下の手順を完了します。

- ステップ 1** Cisco Secure ACS-Cisco ISE Migration Tool のメイン ウィンドウで [設定 (Settings)] をクリックして、移行するデータ オブジェクトのリストを表示します。

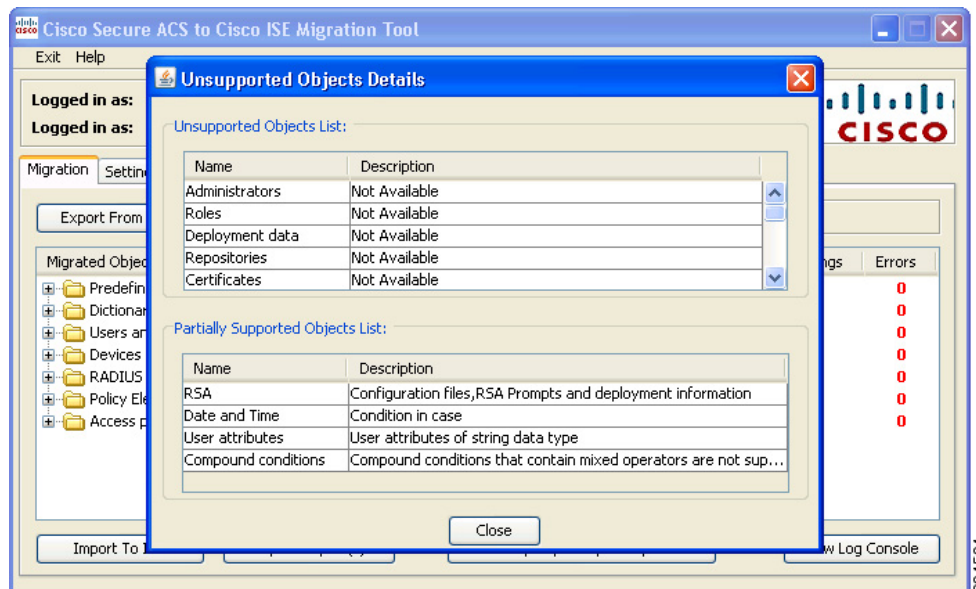


## ログインおよび移行ツールの使用

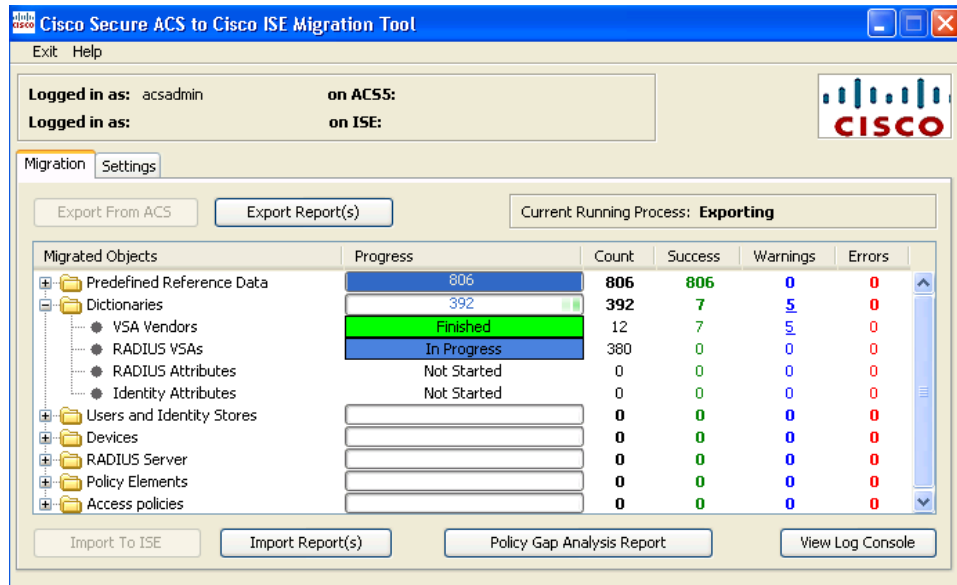
- ステップ 2** 従属データがない場合は、エクスポートするデータ オブジェクトのチェック ボックスをクリックして選択し、[保存 (Save)] をクリックします。
- ステップ 3** Cisco Secure ACS-Cisco ISE Migration Tool のメイン ウィンドウで [移行 (Migration)] ]、および [ACS からのエクスポート (Export from ACS)] をクリックします。  
Cisco Secure ACS 5.1/5.2 システムの [ログイン (Login)] ウィンドウが表示されます。



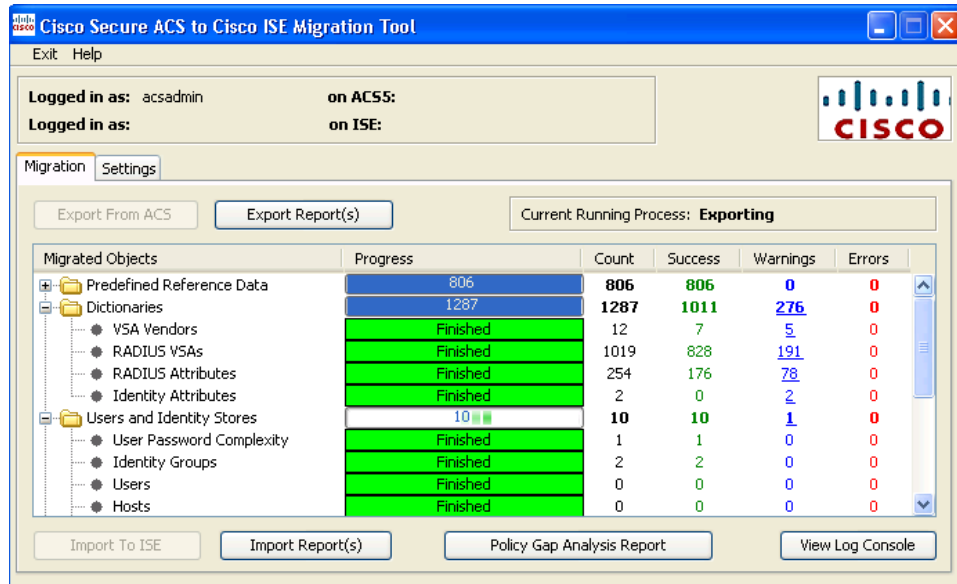
- ステップ 4** [ACS クレデンシャル (ACS Credential)] ウィンドウに Cisco Secure ACS 5.1/5.2 システムの IP アドレス (またはホスト名) とパスワードを入力して [接続 (Connect)] をクリックします。  
データの移行プロセスが開始されます。



**ステップ 5** Cisco Secure ACS-Cisco ISE Migration Tool のメイン ウィンドウを参照して、Cisco Secure ACS 5.1/5.2 のデータ移行の進捗を確認します。



284592

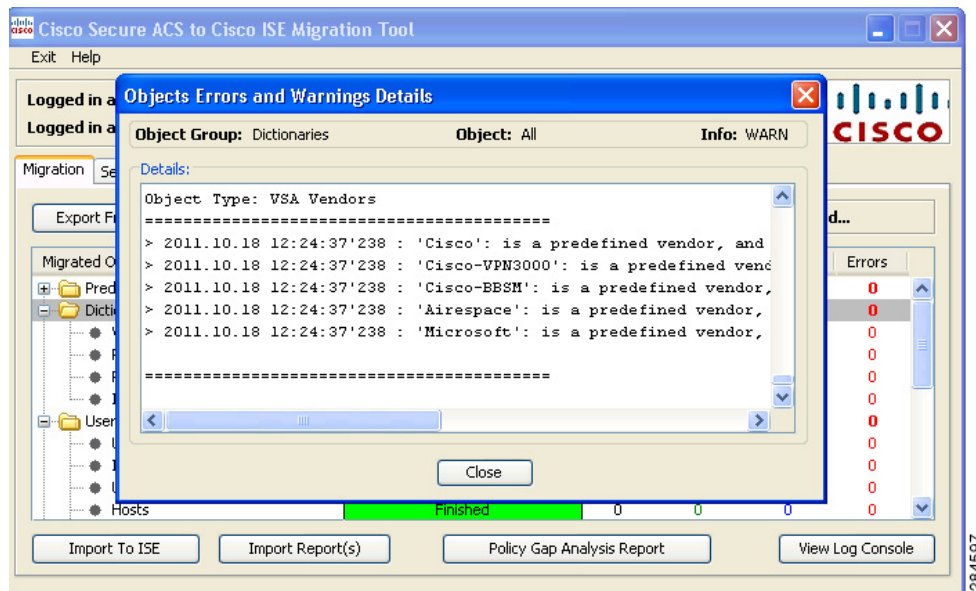


284593

Cisco Secure ACS-Cisco ISE Migration Tool のメイン ウィンドウに、正常にエクスポートされた現在のオブジェクト数、および警告やエラーの原因となったオブジェクトが表示されます。

**ステップ 6** エクスポート プロセスで発生した警告またはエラーについて詳しい情報を取得するには、表に記載されている [警告 (Warnings)] または [エラー (Errors)] をクリックします。以下の例は、表示されるエラーを選択して返される結果を示しています。

[ オブジェクト エラーと警告の詳細 (Object Errors and Warnings Details) ] ウィンドウが表示され、エラーが発生したオブジェクト グループ、タイプ、および日時が示されます。

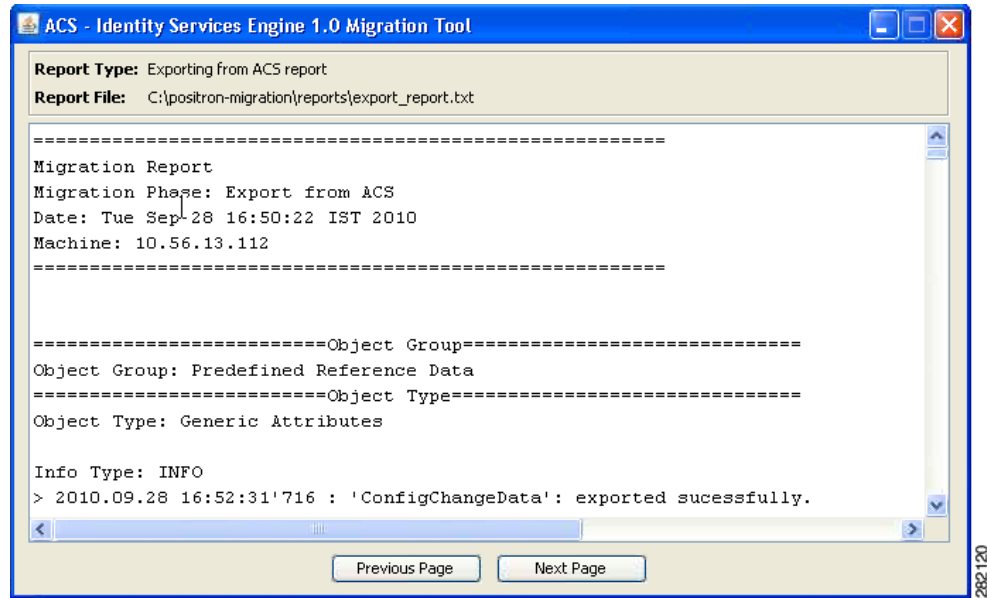


**ステップ 7** 詳細がすべて表示されるまで右へスクロールし、[ 閉じる (Close) ] をクリックしてウィンドウを閉じます。

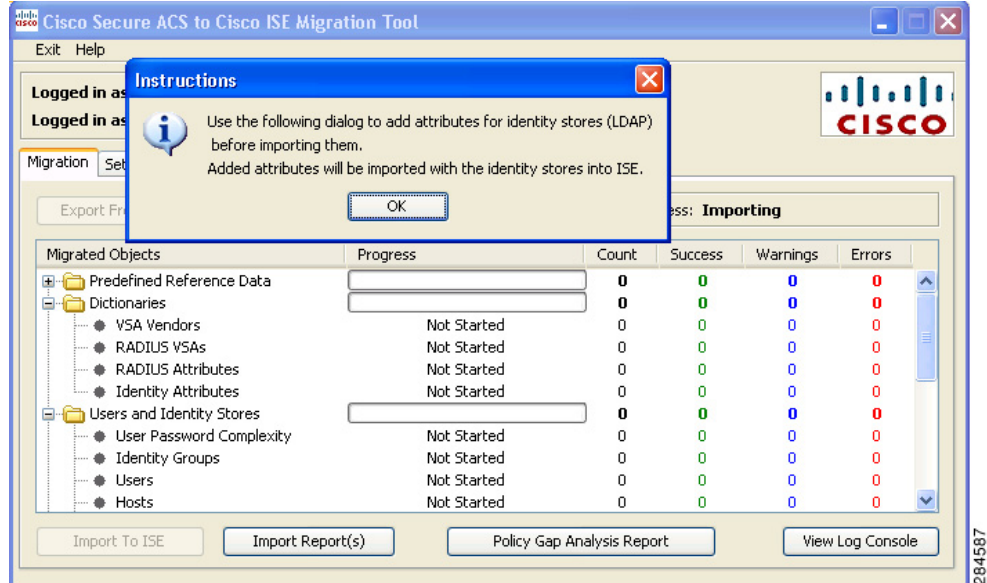
Cisco Secure ACS 5.1/5.2 システムからのデータ エクスポート プロセスが完了する ([ エクスポート完了 (Exporting finished...) ]) と、Cisco Secure ACS-Cisco ISE Migration Tool のメイン ウィンドウにこのステータスが表示されます。

**ステップ 8** [ エクスポート レポート (Export Report(s)) ] をクリックしてレポートの内容を表示します。これは、以下の例に示すようにエクスポート処理を要約しています。

各エクスポート レポートには、ヘッダー情報、および処理のタイプ、日時、およびシステムの IP アドレスまたはホスト名が含まれています。各オブジェクト グループには、そのグループのオブジェクトのタイプ、および関連情報の詳細が記載されます。各レポートの最後には、開始と終了の日時、および処理の期間をまとめたレポートが付随しています。

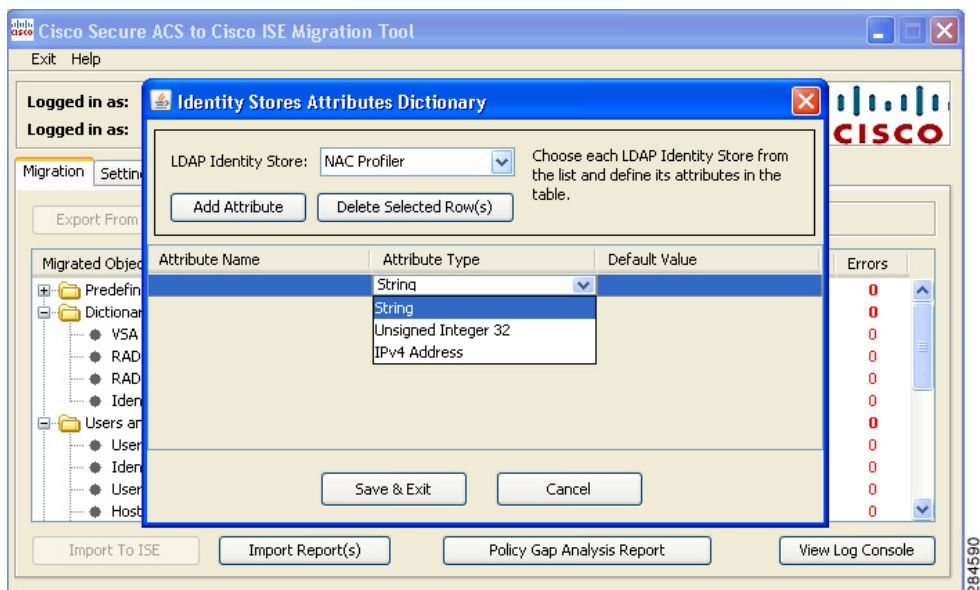


- ステップ 9** Cisco ISE アプライアンスへ、このデータのインポートを開始するには、Cisco Secure ACS-Cisco ISE Migration Tool のメイン ウィンドウで [ISE へのインポート (Import to ISE)] をクリックします。データを Cisco ISE へインポートする前に、LDAP ID ストアに属性を追加するようプロンプトが表示されます。



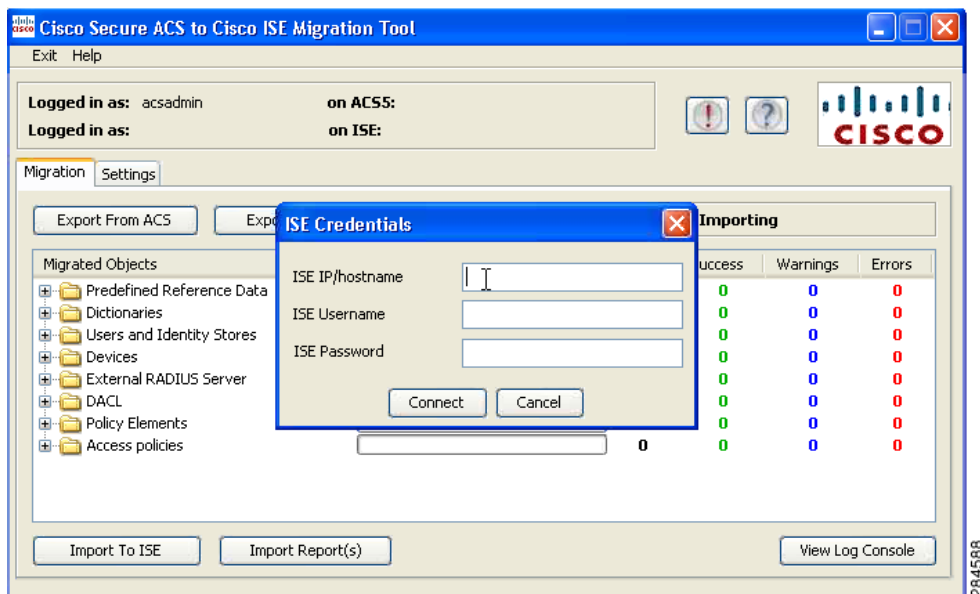
- ステップ 10** [OK] をクリックして、LDAP ID ストアへの属性追加プロセスを開始します。

- ステップ 11** [LDAP ID ストア (LDAP Identity Store)] ドロップダウン リストで、属性を追加する ID ストアを選択します。

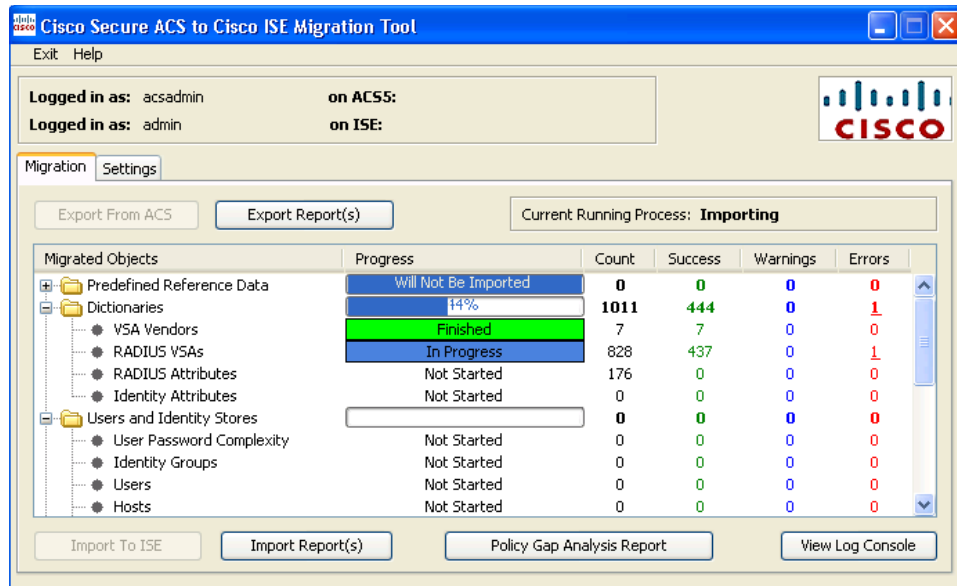


**ステップ 12** [属性名 (Attribute Name)] フィールドに名前を入力し、[属性タイプ (Attribute Type)] ドロップダウンリストから属性タイプを選択します。[デフォルト値 (Default Value)] フィールドに値を入力して [保存して終了 (Save & Exit)] をクリックします。

**ステップ 13** 属性の追加が終了したら、[ISE へのインポート (Import to ISE)] をクリックしてインポートプロセスを続行し、[ISE クレデンシヤル (ISE Credentials)] ウィンドウを使用して Cisco ISE へログインします。

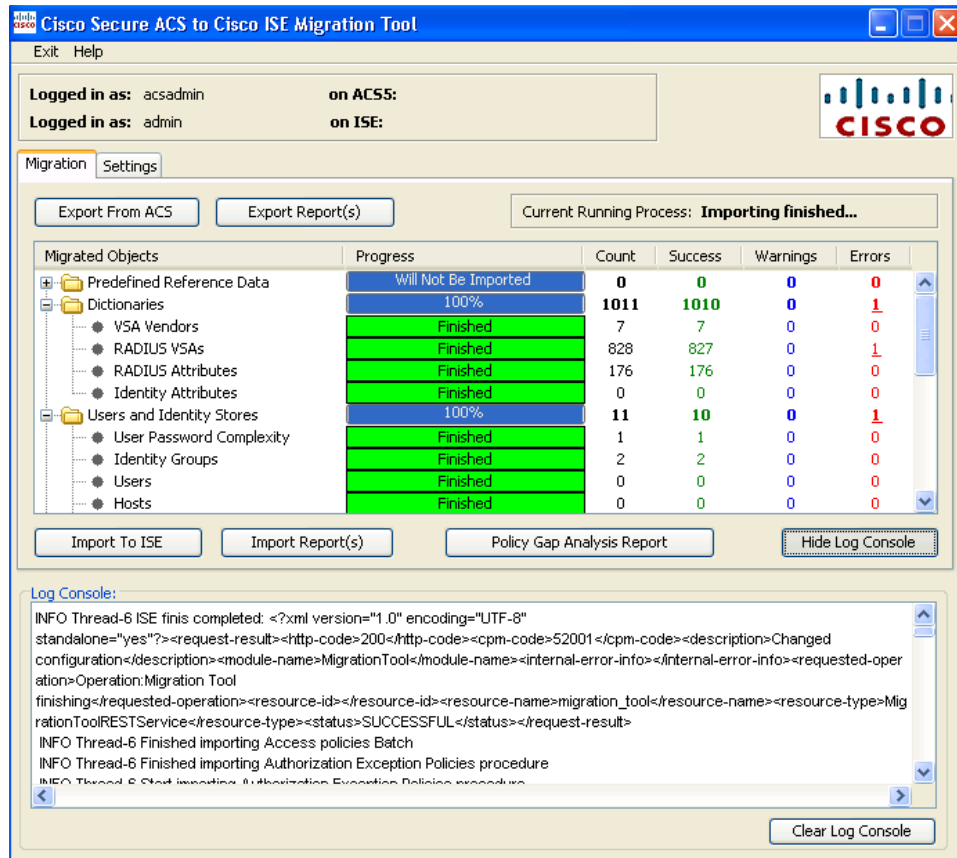


**ステップ 14** 必要に応じて ISE の IP アドレス (またはホスト名)、ISE のユーザ名、および ISE のパスワードを入力し、[接続 (Connect)] をクリックして、Cisco ISE アプライアンスヘータのインポートを開始します。



284586

**ステップ 15** インポートまたはエクスポートのプロセスの任意のタイミングで [ ログ コンソールの表示 (View Log Console) ] をクリックすると、インポートまたはエクスポート処理の現在のステータスをリアルタイムで表示できます。

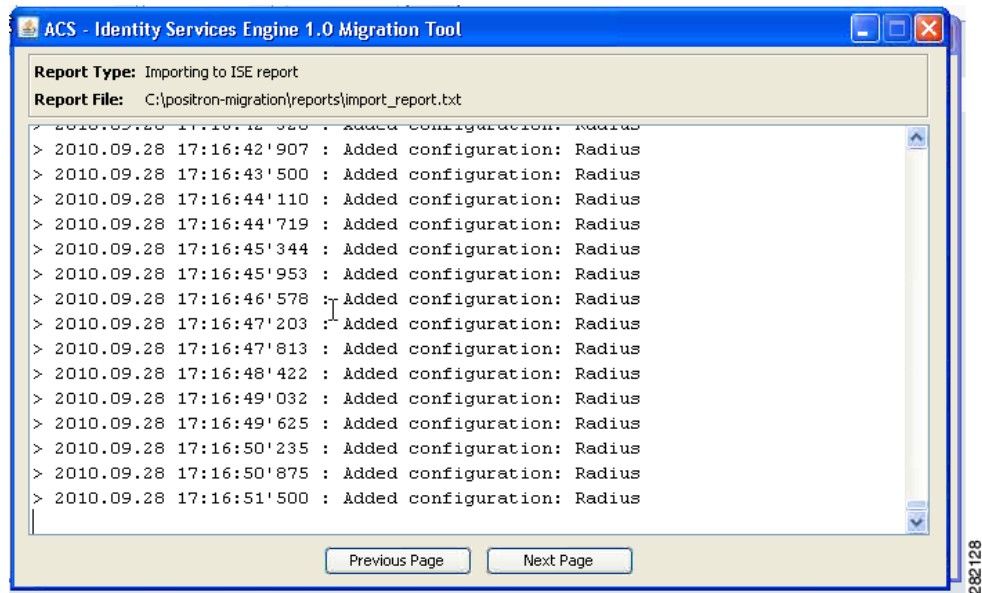


284591

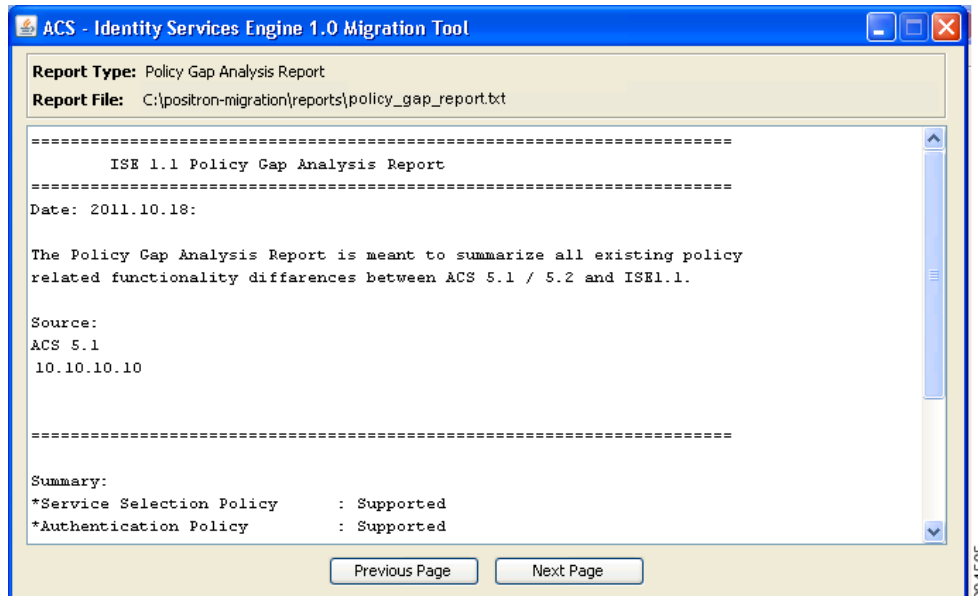
- ステップ 16** インポート プロセスで発生した警告またはエラーについて詳しい情報を取得するには、(手順 6 を参照して) 表に記載されている [警告 (Warnings)] または [エラー (Errors)] をクリックして詳細を表示します。

データのインポート処理が完了すると、Cisco Secure ACS-Cisco ISE Migration Tool のメイン ウィンドウにこのステータスが表示されます。

- ステップ 17** Cisco ISE 1.1 アプライアンスへインポートされたデータの完全なレポートを表示するには、[インポート レポート (Import Report(s))] をクリックします。レポートが表示されます。



- ステップ 18** Cisco Secure ACS と Cisco ISE 間のポリシー ギャップを分析するには、[ポリシー ギャップ分析レポート (Policy Gap Analysis Report)] をクリックします。レポートが表示されます。



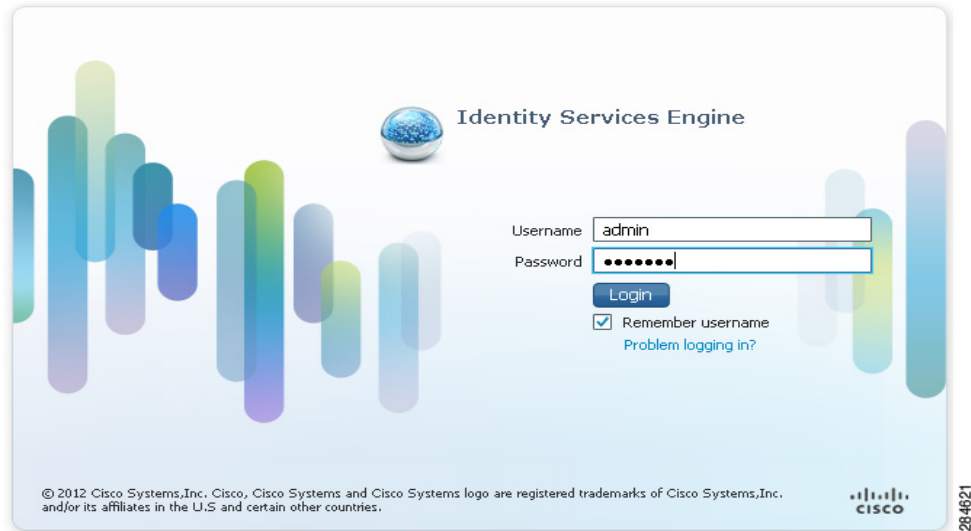


# インポート プロセスの検証

インポート プロセスが完了したことを検証するには、以下の手順を完了します。

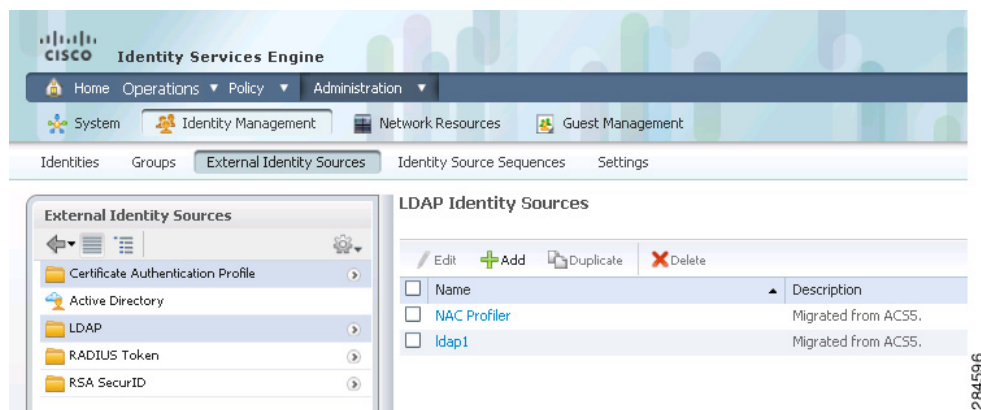
**ステップ 1** Cisco ISE 1.1 アプリアンスへログインします。

- 正しいユーザ名とパスワードを入力します。
- [ログイン (Login)] をクリックします。



**ステップ 2** たとえば、Cisco ISE のメイン ウィンドウで [管理 (Administration)] > [ID 管理 (Identity Management)] > [外部 ID ソース (External Identity Source)] > [LDAP] を選択し、[LDAP ID ソース (LDAP Identity source)] ウィンドウを表示して、何らかの ACS ベースの LDAP ID ソースがインポートされたかどうかを確認します。

ユーザ、またはその他の属性に対して同様の検証を実行し、インポートが正常に行われたかどうか確認することができます。



これで、Cisco Secure ACS-Cisco ISE Migration Tool の使用によるインポート/エクスポート処理は終了です。

---

## レポート ファイルの提供

レポート ファイルを他のユーザと共有する場合、または他の場所に保存する場合は、移行ツールのディレクトリの Reports フォルダに以下のレポート ファイルがあります。

- import\_report.txt
- export\_report.txt
- policy\_gap\_report.txt